

科目名	中国語7a	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	朱 継征		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-3-320241	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	中国語の文法項目を体系的に説明し、「速問即答」方式の特訓によって、聴解力、会話力、読解力、作文力などの中国語の実践的能力が身につく。その実践的能力を高める中で、さらに中国語検定試験2～1級合格、HSK(漢語水平考試)5～6級合格できる。授業用の言語はできるだけ多く中国語を使用する。				
学修到達目標	<p>視聴教材を使い、実戦的に中国語運用のための実用的語彙、文法項目とコミュニケーションの技能を習得できる。既習知識、技能を定着させる上で、中国語の「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という実戦的運用能力が身につく。特に「受信力」(聴力、読解力)より「発信力」(会話力、作文力)を優先に磨いて向上することができる。中国語の日常用語、文法事項を理解し、習得し、上級レベルの実践的能力を生かすことができる。</p> <p>①作文、会話の特訓によって、6,000以上の実用的語彙を活用できる。</p> <p>②「速問即答」方式の特訓によって、さらに80以上の基本構文が身につく。</p> <p>③教科書と同レベルの実践的会話を速問即答、そして作文できる。</p> <p>④中国語検定試験2～1級やHSK5～6級に合格することができる。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	文法と会話1：机场迎送
第2回	文法と会話2：到达饭店
第3回	文法と会話3：欢迎宴会

第4回	文法と会話4：工作安排
第5回	文法と会話5：参观访问
第6回	文法と会話6：友好交流
第7回	文法と会話7：贸易谈判
第8回	文法と会話8：学术交流
第9回	文法と会話9：技术交流
第10回	文法と会話10：公园散步
第11回	文法と会話11：商场购物
第12回	文法と会話12：约会吃饭
第13回	文法と会話13：体育运动

第14回	文法と会話 14 : 阅读小说
第15回	文法と会話 15 : 观赏电影
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間。予定の内容を予習して単語を覚え、作文と会話の内容を準備する。
【復習】時間・内容	1時間。授業で学んだ内容を繰り返し練習し、単語、語法、作文の内容などを復習する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験の点数（60%）、毎回の授業での作文と会話（30%）、授業参加状況（10%）を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	定期試験の問題点を総括して説明する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート
教科書/参考書	教科書：『新HSK過去問題集5級6級』楊 達著, 朝日出版社。 参考書：各種の中国語辞書、中日辞典
受講上の留意点等	辞書を持参すること、予習・復習をすること。 聞く、話す、読む、書くなど総合的な面で、積極的にコミュニケーションに取り組み、中国語の実践能力を高めるよう努力すること。日本語の使用を最小限にすること。
JABEE	